

そうだったの!?

言葉や国語について考えるこの欄は、文化庁の「国語に関する世論調査」などを参考にしている。

関の山

年賀状を書く。12月25日までに投函すれば元旦に届きますと郵便局がいう。こつこつと書いているのだが、手書きでは1日に20枚書くのが関の山だ。

この「関の山」の意味は、一生懸命やることができる可能な限度。精いっぱい(大辞泉)。

最高級、最大限を表す一方、

「その実力では予選通過が関の山だ」(ベネッセ表現読解国語辞典)という言い方で使われることもある。

語源由来辞典によると、関は三重県関町、山は山車(だし)のことをいい、「関町から八坂神社の祇園祭に出される山は、大変立派なものだったため、それ以

上、贅沢な山は作れないだろうと思われた」

山がつく呼び名は栃煌山、松鳳山と大相撲力士に多いが、まさか「関の山」では、ほどほどの活躍で終わりそうだから、付ける人は当然ながらいない。冗談にもならない。笑われるのが関の山だ。